

音楽の教科指導と生徒指導の関係性

～教材×指導方法の工夫～

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（音楽）

氏名（登 愛美）

音楽科の目標は、「生涯にわたって音楽に親しむ生徒の育成」である。音楽は人の想いや感情を扱う。内的感情は音楽媒体でしか表すことができない。音楽で感情を伝えるためには、音楽から感受したことが、音楽を形づくっている要素（以下「音楽の要素」）の働きとどのように関係があるか理解する必要がある。これが音楽科の教科指導である。

本研究では、生徒指導の留意点である「共感的な人間関係づくり」と関わって、音楽の授業で「合わせる」ための授業実践を行った。「合わせる」対象は音楽の要素によって異なり、それを認知させるために教材と指導方法の組み合わせ方を工夫した実践を行った。音楽の要素は教材と指導方法のそれぞれの工夫次第でどの音楽の要素を認知するか異なることがわかった。学ばせたいことを明確に定め、音楽の要素の働きを理解させ、生徒が合わせたいと思える共感的な授業づくりをしていきたい。そうすることで生涯にわたって音楽に親しむ生徒の育成の一助となるだろう。